

お薬の用法用量は合っていますか？

医薬科科長 宮野 すみ子

お薬の飲み方には、起床時、食前、食直前、食後、食間、寝る前や、毎日、1日おき、1週間に1回、1ヶ月に1回、そして1回の飲む量も患者様によって異なる場合があります。

薬の袋（薬袋）には、薬の飲み方が記載されています。

「薬は食後に飲む」「1日3回飲む」「毎日飲む」「この薬は以前1日3回で飲んだ」等の思い込みで、薬袋の記載を見ずに服用していませんか？

改めて薬袋を見てみたら「食前に飲む薬だった」「1日2回朝夕食後服用だった」「週1回飲む薬だった」「1回2錠飲む薬だった」なんていうことがあります。

調剤薬局でも薬の交付時、用法の説明を行っています。その時は聞いていたつもりでも、実際は思い込みで服用してしまうことがあります。

この薬はいつ、何個飲むのか、必ず確認が必要です。

代表的な飲み方は次のようなものがあります。

- ・起床時は朝起きて直ぐ
- ・食後は、食後30分
- ・食前は、食前30分
- ・食直前は、食べる直前
- ・食直後は、食後直ぐ
- ・食間は、食後2時間と書かれている場合もあり、食事をしてから2時間後に服用です。
※「食事中に薬を飲む」という事ではありません。
- ・寝る前は、寝る直前
- ・○時間毎は、示された時間毎に服用



これらは薬の効果を十分に出すために、薬の服用する時に守ってほしいことです。

患者様の自己判断で薬の飲み方を変えることは、薬の効果が十分に得られなくなる場合があります。「朝食後に飲む薬が多いので、これとこれは昼食後に飲んでいきます」と言われる患者様がたまにいらっしゃいます。

朝食後に飲むことにより得られる効果のために、医師はその薬を朝食後服用と指示したかもしれません。

飲み方を変更したい場合、
必ず医師に相談してからにしてください。



飲み方が異なる薬を同じ薬袋に入れたり、他の薬の薬袋に入れたりするのは飲み間違いの原因になります。薬は必ずその薬の薬袋に入れるようにしましょう。

飲みやすいように薬を1錠に切り分けている場合も、他の薬とは混ぜないようにしましょう。外観が似ている薬はたくさんあり、重複服用の原因になります。人の記憶は時としてあやふやになることがありますから。

薬は、薬の名前、用法、用量を薬袋で確認してから飲みましょう。